

PSS REPORT 2017

第32期 平成28年7月1日 ▶ 平成28年12月31日

中間事業報告書



▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 代表取締役社長 日 島 秀 二

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計2万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。

■ 業績について

第32期（H29/6）第2Q連結累計期間業績について
⇒参照 連結財務ハイライト

対前年同期比では減収増益となりました。その要因としては、大手OEM先の一部において、製品出荷が一時休止となっている影響と自社販売の立上げに今しばらく時間が必要であるのに対して、積極的にコスト低減に取り組んだことなどにより減収分を上回る収益確保ができたことによるものです。一方で、エリテック社に供給開始した全自動遺伝子診断装置「InGenius®（PSSではgeneLEADXII）」に関しては、順調な立ち上がりとなっており、当初計画通りの販売状況です。また、同製品の販売拡大を行うため日本国内販売及びエリテック社のCE-IVD規格試薬販売に関する契約締結を行いました。このことにより自社試薬とセット販売展開をする新製品（geneLEADVIII）を加えたgeneLEADシリーズの製品販売は、十分に市場に受け入れられるものとの認識を強めており、これを当社事業の将来を支える主力製品と位置づけた販売戦略を今後は展開いたします。



PSSの提案する診断システム

●全自動遺伝子診断装置 geneLEADXII

■ 中期事業計画について

PSSは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年数値の見直しを実施しています。

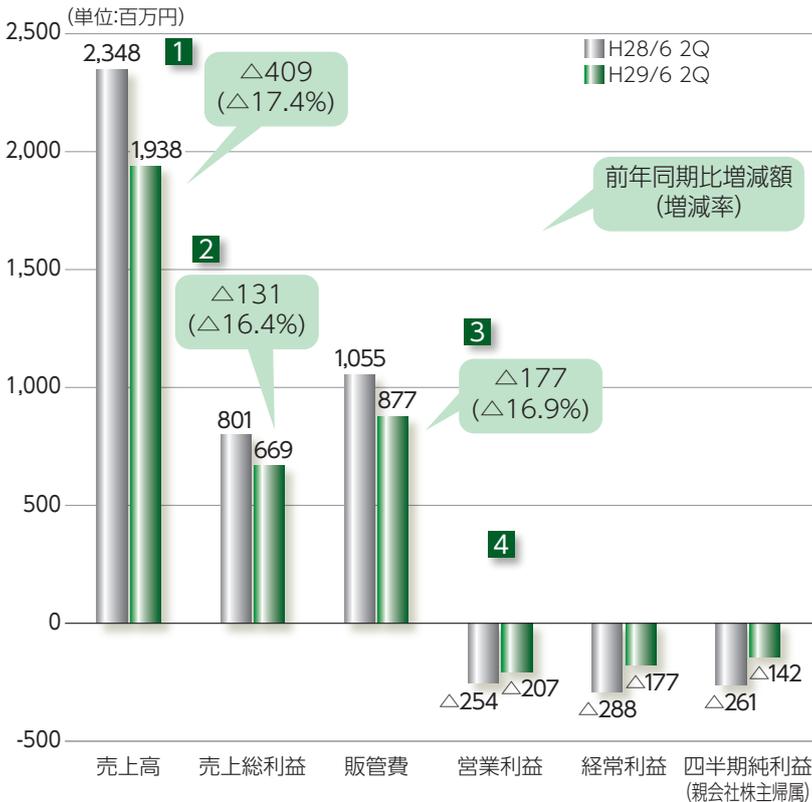
現在中期事業計画の方針としては、事業の早期黒字転換を掲げており、その施策として、①自社製品のラインアップを充実して販売強化を行い、アジア・米国・欧州の3極におけるPSS直販体制、及び当該地域における販売代理店網構築②製品コストダウンを行うために、生産ラインの増強と省力化を推進し、将来の増産に備えるとともに、外注先の工場と協力し、当社と一体となって製品コストダウンに注力を挙げています。

これらの施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実に御覧いただけるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第32期(H29/6)第2Q連結累計期間業績について

■当第2四半期連結累計期間の業績は、対前年同期比減収増益となりました。



◆第31期(H28/6)第2Q業績比

▶売上高の減収及び総利益の減益

全自動遺伝子診断装置「geneLEADXII Plus」については、OEM先を通じて順調な販売推移となり、当初計画どおり前年同期間から2倍の売上計上となりました。一方で、大手OEM先の一部において、製品出荷が一時休止となっている影響と自社販売については、代理店へのアプローチなどの活動を強化しておりますが、本格的な販売拡大には今しばらく時間が必要です。

1
2

▶販管費は前年同期比削減

研究開発費が290百万円（前年同期比11.4%減）となったほか、積極的にコスト低減に取り組んだことによるものです。

3

▶為替差損の計上

近時の円安による影響により為替差益16百万円が発生しました。

4

●PSSの目指すバイオ診断分野

更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

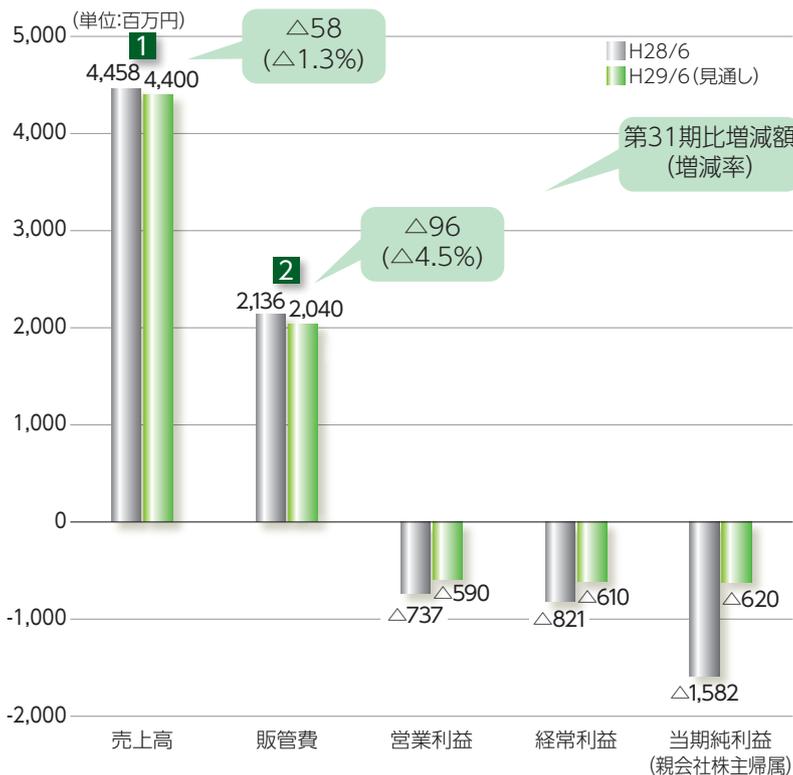
PSSWebサイト>早わかりPSS



第32期(H29/6)通期連結業績見通しについて

■引き続き赤字となる見通しではありますが、当社グループといたしましては、リストラや開発費の削減による黒字化を目指すのではなく、geneLEADシリーズを中心とした遺伝子診断分野への事業展開を図ることで、業容拡大による早期の黒字化を目指します。

(なお、為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=110円にて算定しております。)



◆第31期(H28/6)業績比

▶売上高対前期比微減

一部のOEM先の販売において減少を見込んだ一方、エリテック社向けの全自動遺伝子診断装置の市場投入が進んでいること、それに搭載するDNA抽出試薬とあわせ増収を見込むとともに、近年注力してまいりました自社販売拡大については、通期において上半期の遅れを取り戻すべく営業活動を更に強化することで、当初計画通りの売上の達成を目指しています。

1

▶販管費対前期比削減

引き続き積極的な研究開発投資795百万円（前期比2.3%増）を行うものの、第31期（平成28年6月期）の減損損失の計上に伴う減価償却負担の低減効果やその他の経費削減努力を見込んでいます。通期におきましては、上半期に計画していた研究開発費の一部が下半期に持ち越される見込みです。

2

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより
投資に関する説明会開催状況について
(平成29年2月27日)

▶ PSS決算説明会資料

■ 事業の進捗について

自社製品販売について

「PSS、DiagenodeとPSSの全自動遺伝子診断装置「geneLEADVIII」に関して試薬開発及びOEM供給契約を締結」
(平成28年9月23日)

PSSが開発した全自動遺伝子診断装置（リアルタイムPCR診断装置）であるgeneLEADVIIIに搭載する試薬開発及びOEM供給に関して合意いたしました。この合意により、Diagenodeが保有する業界最先端の臨床診断薬（定量PCR測定用）のうち感染症診断用8項目が最適化されgeneLEADVIIIに搭載されます。これらの臨床診断薬は、呼吸器及び腸疾患を想定しており、PSSはDiagenodeから試薬のOEM供給を受け、PSSブランドで販売を開始します。



geneLEADVIIIの特長

- 小型・安価でさらに市場性を高めたモデル
- 徹底的なシンプル化をはかり、さらに信頼性を向上
- 従来のフルオートメーションシステムと同等の診断性能
⇒ 欧州・アジアを中心に試薬とセットをした自社販売開始予定

「PSS、ELITechとOEM供給製品（全自動遺伝子診断装置）の日本国内販売及び試薬販売に関する契約締結のお知らせ」
(平成29年1月5日)

この度の欧米市場における順調な販売状況を鑑みて、販売拡大を行うためPSSは「ELITe InGenius®」の日本国内販売及びELITechのCE-IVD規格試薬販売に関する契約締結を行いました。

PSSの田島秀二社長は、「全自動化遺伝子診断システムgeneLEADXIIは、PSSの今迄の技術の集大成として位置付けており、そのシンプルでコンパクトなコストパフォーマンスの高い全自動化システムは、新たな事業分野を拓くものとなります。すなわちgeneLEADXIIの汎用性を活用し、感染症、がん、遺伝病、食品検査等の分子（遺伝子）生物学研究をテーマとする市場に販売を行うものです。今回の販売契約が、日本国内において従来遺伝子情報の活用が困難であった臨床研究及び遺伝子診断の分野にブレークスルーをもたらす製品となることに大きな期待をしています。」と語っています。

■ 国家プロジェクト参画

「NEDO PJ（植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発）の参画について」(平成28年9月15日)

事業名「植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発PJ」にて、研究開発項目「高生産性微生物創製に資する情報解析システムの開発」の委託先として、共同研究を行う各企業とともにPJに参画することになりました。

このPJでは、植物や微生物の細胞が持つ物質生産能力を最大限に引き出した「スマートセル」を作り出し、従来合成法では生産が難しい有用物質の創製、生産プロセスの低コスト化や省エネ化を実現します。

PSSの研究開発テーマは「DNA精製技術の開発」のうち「磁性ビーズを用いた配列特異的DNA断片除去法の開発」にて、DNA精製試薬の開発を目指しています。

■ (株主様向け) 製造子会社NPS・PSS大館試薬センター（ORC）見学会のご案内

| | |
|-----------|---|
| 趣 旨 | 株主様にPSSの自動化システムのものづくり拠点となっているNPS・ORCを視察して頂くことにより、バイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の提供により遺伝子情報の有効活用による社会貢献が可能となったPSSの事業成長展開の実感とご理解を深めてもらう。 |
| 日 時（予定） | 平成29年6月上旬 |
| 参加人数 | 参加人数15名程度を上限 |
| 日 程（予定） | 13:00 JR大館駅集合⇒13:15 NPS・ORCものづくり現場見学会⇒15:30 終了⇒JR大館駅解散 |
| 諸 費 用 | 交通費（電車代、飛行機代、シャトルバス、但し大館駅⇄NPS・ORC間は不要）、食事代、宿泊代は自己負担（事前にお勧めの施設等をご案内します。） |
| ご参加問い合わせ先 | PSS IR・社長室 TEL: 047-303-4800 Eメール: ir@pss.co.jp |



会社概要 (H28/12末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
 (英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.
 設立年月日：1985年7月17日
 役員：代表取締役社長 田島 秀二
 常務取締役 秋本 淳
 常務取締役 池田 秀雄
 取締役 古川 昭宏
 取締役 上田 哲也
 取締役* 團野 達郎
 監査役** 平山 伸之
 監査役** 荻原 大輔
 監査役** 山川 善之
 (注) *社外取締役 **社外監査役

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
 Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
 ユニバーサル・バイオ・リサーチ (株) (千葉県松戸市)
 エヌピーエス (株) (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー
 遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設
 (ラボ) の自動化や臨床診断分野向けの各種自動
 化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に
 使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消
 耗品の製造販売等

資本金：2,972百万円
 従業員数：185名
 (注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない)

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
 発行済株式の総数 20,756,900株
 株主数 10,651名

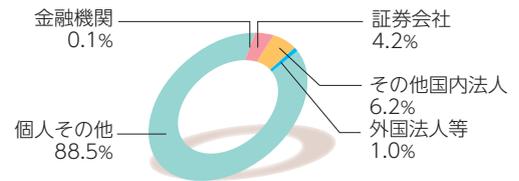
大株主 (H28/12末現在)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|-----------|---------|
| 田島 秀二 | 4,549,200 | 21.9 |
| (有) ユニテック | 1,200,000 | 5.8 |
| 五味 大輔 | 330,000 | 1.6 |
| 高橋 計行 | 283,200 | 1.4 |
| 高山 茂 | 194,700 | 0.9 |
| (株) SBI証券 | 134,900 | 0.6 |
| プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会 | 123,700 | 0.6 |
| SMBC日興証券(株) | 113,700 | 0.5 |
| 秋本 淳 | 90,400 | 0.4 |
| 田島 久 | 90,000 | 0.4 |

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日
 中間配当金 毎年12月31日
 定時株主総会 毎年9月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子
 公告による公告をすることができない場合
 には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等
 株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されてい
 る証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、
 ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、
 下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、み
 ずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
 9:00~17:00)

お取扱店 みずほ証券
 本店、全国各支店および営業所
 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱い
 いたします。
 みずほ信託銀行
 本店および全国各支店
 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金の
 お支払い みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会
 社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。
 PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。
 実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 IR・社長室

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL:047-303-4800 ▶FAX:047-303-4810 ▶Eメール:ir@pss.co.jp